

学校不適應を防ぎ、生徒も先生も笑顔で過ごすために

◆適切な生徒理解

- よく観る…表情、対人関係
- よく聴く…傾聴、共感
- よく知る…特性、適性、生活環境

活用
できます

特別支援教育シリーズ第3集
一人にひかり みんなのかがやき
～高等学校における特別支援教育～
長野県教育委員会発行

<http://www.pref.nagano.jp/kenkyoi/jouhou/gakkou/jiritsu/serizu/index.htm>

◆新入生への早期適應指導

- 人間関係づくり
- ルール指導
- 早期の個人面談

◆校内の連携

- みんなで情報を共有
- 共通理解に基づく協働

◆自己肯定感を高める工夫

- 少しのことでもほめる声かけ
- 達成感を与える授業の展開

◆保護者との信頼関係の構築

- まずは話を聴くところから
- 懇切丁寧な対応

◆バランスのとれた指導スタイル

- カウンセリング・マインドとリーガル・マインドの両立

◆校外との連携

- 地域の力を活用した指導
- 外部機関との日常的つながり

生徒の指導に関する相談窓口

東信教育事務所学校教育課	教育相談専用ダイヤル	0267-24-5570
南信教育事務所学校教育課	教育相談専用ダイヤル	0265-72-4647
南信教育事務所飯田事務所	教育相談専用ダイヤル	0265-53-0462
中信教育事務所学校教育課	教育相談専用ダイヤル	0263-47-7830
北信教育事務所学校教育課	教育相談専用ダイヤル	026-232-7830
長野県総合教育センター	教育相談専用ダイヤル	0263-53-8811

お問い合わせ先

長野県教育委員会事務局 教学指導課心の支援室
TEL : 026-235-7436 (直通) E-mail : kokoro@pref.nagano.lg.jp

笑顔で過ごす学校生活

高校中退者防止のために

生徒指導

- 基本的な生活習慣の定着
 - ・ 早期発見、早期対応
- 規範意識の醸成
- 不登校生徒に対する支援
 - ・ 居場所づくり
- 教育相談体制の充実
- 生徒指導体制の見直し

学習指導

地域連携

進路指導

- 授業改善
 - ・ 基礎学力をつける
 - ・ 学習意欲を高める
- 発達障害の生徒への支援
- 教育課程の見直し
- 単位認定の見直し
- 学校：キャリア教育の推進
 - ・ 地域や学校の実態把握
 - ・ 生徒の特性の理解
- 生徒：自己の在り方・生き方
 - ・ 進路選択の主体性

生徒指導総合対策会議 長野県教育委員会

生徒指導

《ハートフル支援事業》
(生活支援員)
による登下校時の生徒観察

《地域外部講師》
による進路講話

地域教育力の向上

地域人材の活用

地域関係機関との連携

集団指導

・成長を促す指導
・予防的な指導
・課題解決的な指導

個別指導

『集団指導』の観点から

「学校ができること」

【新入生早期適応指導】

- ・卒業生による講話
- ・SSEの実践 (ソーシャルスキルエデュケーション)
- ・SGE (構成的グループエンカウンター)

【生徒会活動の活性化】

- ・地域行事への参加
- ・全校校外ゴミ拾い

【PTA、同窓会、学校評議員会による学校運営への参画】

- ・マラソン大会への参加・協力
- ・文化祭への出店・協力
- ・講演会等の講師要請

【教育課程や単位認定の見直し】

- ・「学校設定科目」等の設置
- ・人権教育の充実

【授業改善】

- ・学習指導参照
- 【キャリア教育の充実】
- ・進路指導参照

【地域防災拠点としての役割】

- ・自治体・地域と連携した防災教育
- ・避難場所としての地域連携

【共通理解・共通実践】

- ・“厳しさ”と“やさしさ”の必要性
- ・“毅然”とした“粘り強い”指導の必要性
- ・“人権尊重”の視点に立った生徒指導

「自分の大切さとともに
他の人の大切さを認める」

地域人材活用の先進的な取組(H22 生徒指導アンケート) から

『警察官 OB』等による生活支援員の活用

【学校内外の巡視】

- ・地域店舗の見回り、声かけ
- ・近隣最寄駅の駅頭巡視
- ・学校周辺の巡視
- ・文化祭等でのトラブル防止の巡回・巡視

【情報の収集】

- ・最寄り交番や警察署
- ・地元中学校
- ・登下校指導時の生徒観察

【生徒や学校に対する援助】

- ・事実確認等の援助
- ・問題行動生徒の学校生活の援助
- ・問題行動生徒の家庭環境の援助
- ・少年法や刑法の見地から面談指導
- ・反省指導後のケア、生活援助

『発達障害支援専門員』の活用

【校内の実態把握】

- 《実態把握プログラムの実施》
- ・Q-U アンケート
- ・WISC-III等の検査

【支援内容】

- 《校内支援体制の整備》
- ・特別支援教育コーディネーターの活動支援
- ・特別支援教育担当委員会への活動支援
- 《生徒支援への助言》
- ・支援会議参加、支援方法のアドバイス
- ・生徒、教員に対する支援
- 《教員の専門性向上に向けた取組》
- ・教員の教育相談に対応
- ・校内研修の講師を担当

【企画した支援】

- ・SST (生活技能訓練)
- ・アサーショントレーニング (学年別)
- ・職員会における WISC 研修
- ・企業見学等の就労支援
- ・構成的グループエンカウンターによる関係づくり

「個別指導」の観点から

『生徒指導体制』の再点検

- 【生徒指導ガイドラインの見直し】
- ・登校反省を基本とした反省指導
- ・欠課、欠席の取り扱い
- ・別室指導の在り方、課題の工夫
- ・面談指導、家庭訪問時の対応方法

『教育相談体制』の見直し

- 【学校における教育相談の良さ】
- ・早期発見、早期対応が可能
- ・援助資源が豊富
- ・外部との連携が取りやすい
- 【教育相談の条件整備】
- ・教員一人一人のゆとりの確保
- ・教員の「燃え尽き」予防と防止
- ・SCによるコンサルテーション

『発達障害のある生徒への対応』

- 【大切なこと】
- ・個々の生徒の自尊感情を高める
- 【そのために】
- ・成就感と達成感を味わうことができ、所属感が持てる授業の実践
- 【ポイント】
- ・『どうすればできるようになるのか?』という視点が大切
- その生徒なりの学び方や考え方が
- 力を発揮することができる環境条件がある
- 【対応】
- ・できないことを叱るのではなく、教えてほめる方が上手にできるようになる
- 【まずすること】
- ・障害特性に限らず、個々の特性を把握する
- ・『私の教え方で学べない生徒には、その生徒の学び方で教える』

《ハートフル支援事業》
(生活支援員)
による教育相談の援助

学習指導 授業改善

一授業の工夫・改善点一

《基礎学力の定着》

- ・個別指導 (学年、学科、教科等で連携し計画性を持って)
- ・補習授業 (日常的な積極的補習、0、7時限目の工夫)
- ・小テスト (SHR 等を利用した各教科の小テスト)

《授業スキルの向上 (授業に向かう姿勢づくり)》

- ・達成感・つまづき克服・自信・意欲
- ・自己肯定感、自尊感情を高めるための教科間の連携など

《授業のユニバーサルデザイン化※》

- ・板書の工夫
- ・授業のリズム、テンポ
- ・授業形態の工夫など

※全ての生徒がわかりやすく、参加しやすい授業

《この字型》
座席による授業

《グループ学習》
“学びあい”

進路指導 キャリア教育の充実

一キャリア教育推進のために一

《学校が行うこと》

- ・地域や学校の実態把握
- ・生徒の特性の理解
- ・地域や産業界との連携
- ・就業体験の積極的活用と工夫
- ・生徒の社会的・職業的自立に向けての指導

《学校で育成する4能力》

- ・人間関係形成及び社会形成能力
- ・自己理解及び自己管理能力
- ・課題解決能力
- ・キャリアプランニング能力

《地域外部講師》
による手話検定